

# 投稿規定の改定および投稿方法について

編集委員長 小川 英生

昨年の討論会場における総会でご説明いたしましたように、「熱測定」誌は本巻より B5 判から国際的な標準サイズである A4 判へと紙面を拡大し、文字のポイントも旧巻の 8.5P から 9.0P にやや大きく読みやすく致しました。これにより 1 ページの情報量は全角 2480 字から 2700 字へと約 9% 増えました。残念ながら会誌発行費を低減させるため年 5 号から年 4 号発行へ 1 号分減らすこととなりましたが、年間記事数は従来通りの数の掲載を予定しておりますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 投稿規定の変更点

今回の会誌発行の変更に合わせて、編集委員会では投稿規定を改定いたしましたのでその主な変更点と変更の趣旨を以下に説明いたします。

### 1. 記事種別への技術論文・技術ノートの新設

日本熱測定学会では熱測定による物質等の研究と共に、測定技術の研究と応用を促進することが学会の目的となっています。(会則第 3 条)しかし、測定装置の改良や測定法の改良といった地道で本会に取って重要な技術開発の報告が論文として公表されることは少なく、まれに投稿される論文の審査において物質等の学術研究論文との混乱が見受けられました。従いまして、測定技術の投稿による公表を促し、熱測定を活性化するため技術の論文として原稿種別を明確化することと致しました。また、新しい原理に基づく装置の論文など著者のご判断で通常の論文としてご投稿いただいたものは従来通りの扱いといたします。技術論文・技術ノートを審査される際には技術的観点で査読頂きますようお願い申し上げます。

### 2. 記事ページ数の変更

ページあたりの情報量の増加に伴い、論文と解説記事は刷り上がり 8 ページ以内から 7 ページ以内へ変更いたしました。また、ノートと熱測定応用研究のページについては変更ありません。従来、ノートは規定のページ数に収まっていないものが見受けられましたが A4 版では収まりやすくなると期待されます。

### 3. 投稿テンプレートファイルによる投稿原稿作成

一昨年より印刷費を安く抑えるため事務局では印刷所への原稿持ち込みを完全電子化致しましたが、そのための印刷フォーマットへの編集作業の手間がよりかかるようになり、しばしば会誌発行遅れの原因となっております。熱測定誌の印刷スタイルはすべて Word で設定することができますので今後は、Word のテンプレートファイルへ直接記入して頂くことに致しました。これによりページ数の確認が容易となり編集作業の低減と迅速な出版が図れます。ご理解とご協力をお願い致します。Word テンプレートでの原稿作成が困難な場合は刷り上がりスタイルの原稿作成を指定いたしました。本号に寄せられた解説記事はすでにテンプレートに記入したものを提出いただいております。

## 原稿投稿方法

主な原稿種別ごとの原稿テンプレートファイルおよび原稿見本は学会ホームページから DL できるようにいたします。テンプレートファイルに記載された例と使い方に従って入力し、メール添付で下記にご投稿ください。テンプレートに入らない大きな図、表は別ファイルとしてメール添付願います。

投稿先： [edit@netsu.org](mailto:edit@netsu.org)